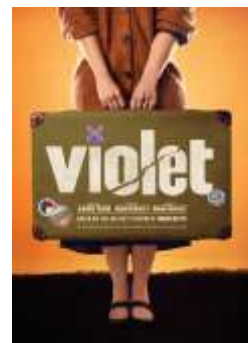


藤田俊太郎演出！ロンドン公演を経て、4月に日本版を上演 ミュージカル『VIOLET』公演 全キャスト決定！

オフ・ウエストエンド・シアター・アワードにノミネートされるなど、
2019年大好評を博したロンドン・チャリング劇場でのロンドン版公演
に続き、いよいよ日本キャスト版が2020年春に上演



梅田芸術劇場が英国チャリングクロス劇場と共同で演劇作品を企画・制作・上演し、演出家と演出コンセプトはそのままに「英国キャスト版」と「日本キャスト版」を各国それぞれの劇場で上演する日英共同プロジェクト第一弾となったミュージカル『VIOLET』。新進気鋭の演出家、藤田俊太郎が単身渡英し現地のキャスト・スタッフと作り上げたロンドン公演は、今年の1月から4月まで上演され、オフ・ウエストエンド・シアター・アワードで6部門にノミネート。中でも日本人演出家の作品が栄誉ある「作品賞」候補に選ばれる快挙となりました。そして、2020年4月には日本キャスト版を上演致します。

注目のキャストが遂に決定致しました！

主演のヴァイオレット役には、ミュージカル界で数々のヒロインを演じ確かな実力で注目を集めている唯月ふうかと、シンガーソングライターとしての活躍で抜群の歌唱力を誇り、俳優の石橋凌と原田美枝子を両親に持つサラブレッドの優河がミュージカル初挑戦。この可能性を秘めた二人がダブルキャストで、顔に大きな傷を負いながらも自らの人生を切り開く為バスの旅に出る主人公ヴァイオレットを演じます。ヴァイオレットが運命の出会いを果たす二人の男性、白人兵士モンティ役に、テレビドラマや映画でも幅広く活躍し存在感を發揮している白洲迅、黒人兵士フリック役には、演出家の藤田俊太郎が厚い信頼を寄せる吉原光夫が物語の鍵を握る主要な役どころで登場。ヴァイオレットの旅の目的となる、あらゆる傷を癒すという奇跡のテレビ伝道師役に原田優一、この旅で一番最初に会いヴァイオレットの人生に大きな影響を与える南部出身で白人の老婦人役として島田歌穂が出演致します。

個性豊かなキャスト陣が顔を揃え、藤田俊太郎がロンドンの経験を経て挑む日本版『VIOLET』にどうぞご期待下さい。

日本版キャスト決定！！



ヴァイオレット役(Wキャスト)
唯月ふうか



／ 優河



モンティ役
白洲迅



フリック役
吉原光夫



伝道師役
原田優一



老婦人役
島田歌穂



父親
spi



ヴァージル
横田龍儀



リロイ
森山大輔



ミュージックホール・シンガー
エリアンナ



ルーラ
谷口ゆうな



ヤングヴァイオレット(Wキャスト)
稲田ほのか



／モリス・ソフィア

大好評を博したロンドン公演の舞台空間を日本でも実現へ シアター・オン・ステージで臨場感あふれるバスの旅を！

日本に先駆けて上演されたロンドン公演では、演出プランを実現する為に、プロセニウムであったチャリングクロス劇場の大改修工事を行い、本公演の為に対面式舞台に作り替えを致しました。これにより、観客も一体となりヴァイオレットと共にバスの旅をする臨場感は公演を成功に導きました。

ロンドン公演を経て、日本での上演方針を改めて検討した結果、ロンドンの対面式舞台と同様のステージを日本でも実現するという演出プランに決定致しました。東京芸術劇場プレイハウスを舞台の四方を客席が囲むシアター・オン・ステージの形式をとり上演致します。

当初、梅田芸術劇場シアター・ドラマシティでの大阪公演を予定しており実施を検討致しましたが、劇場の構造上、このシアター・オン・ステージの実現が不可能であることがわかりました。演出プランを変更しての上演は、本企画の趣旨から考えても最適ではないと判断し、予定されていた大阪公演は取りやめ、東京公演のみの上演となります。



対面式舞台と両サイドのバルコニー席に改修されたチャリングクロス劇場（ロンドン公演より）

STORY

1964年、アメリカ南部の片田舎。幼い頃、父親による不慮の事故で顔に大きな傷を負ったヴァイオレットは、25歳の今まで人目を避けて暮らしていた。しかし今日、彼女は決意の表情でバス停にいる。あらゆる傷を癒す奇跡のテレビ伝道師に会う為に。西へ1500キロ、願いを胸に人生初の旅が始まる。

長距離バスの旅でヴァイオレットを待ち受けていたのは、様々な人と多様な価値観との出会いだった。ヴァイオレットの顔を見た途端目を背ける人々。一番最初の出会いとなった南部出身で白人の老婦人。運命的な出会いを果たす白人兵士モンティと黒人兵士フリックの対象的な二人の男性。思いがけない正体を現したテレビ伝道師。追憶の中にあらわれる父親。これらの出会いによりヴァイオレットの中で何かが少しずつ変化しはじめる。

長い旅の先に彼女が辿り着いたのは—

ミュージカル『VIOLET』公演概要

音楽：ジニー・テソーリ（『ファン・ホーム』2015年トニー賞最優秀オリジナル楽曲賞）

脚本・歌詞：ブライアン・クロウリー 原作：ドリス・ベッツ『The Ugliest Pilgrim』

演出：藤田俊太郎

出演：唯月ふうか／優河（Wキャスト） 白洲迅 吉原光夫

spi 横田龍儀 森山大輔 エリアンナ 谷口ゆうな 稲田ほのか／モリス・ソフィア

原田優一 島田歌穂（Wキャスト）

会場：東京芸術劇場プレイハウス

期間：2020年4月7日（火）～4月26日（日）

一般発売：2月1日（土）

お問合せ：梅田芸術劇場（10：00～18：00） 0570-077-039

企画・制作・主催：梅田芸術劇場

<本公演に関する報道のお問い合わせ>

(株)梅田芸術劇場 広報宣伝担当<東京> 杉本、松田、赤塚 TEL03-6259-1707/FAX03-6259-1709

umegei-kouhou@hankyu-group.jp